

この絵図は、今から 300 年ほど前の甲府城を描いたものです。

今、よみがえる甲府城

👉 建物の一部は復元整備されているよ! 👈

やまのてもん
山ノ手門
(山手門)



うちまつかげもん
内松蔭門



いなりやぐら
稲荷櫓



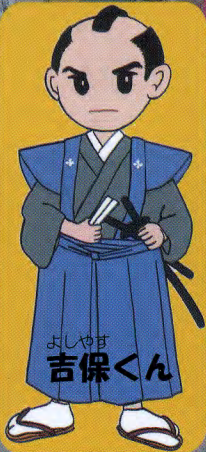
別の絵図では
この辺りに
'湯出る'の
文字あり。

県庁の建物

いなりもん
稲荷門



かじぐるわもん
鍛冶曲輪門



よしやす
吉保くん

甲府城絵図 (柳沢文庫保存会蔵「楽只堂年録」)

※無断転用・掲載を禁ず

「甲府城」は、天正 10 年 (1582) に武田氏が滅びた後、豊富秀吉の命を受けた、浅野長政 (あさのながまさ)・幸長 (よしなが) 父子によって築られました。城下が最も繁栄したのは宝永元年 (1704) に柳沢吉保 (やなぎさわよしやす) が城主となった頃です。上の絵図はこの頃のもので、やがて幕府の直轄地となると、城主は置かれずに甲府勤番支配の手で治められました。

平成 19 年度文化庁
埋蔵文化財保存活用整備事業
発行：山梨県埋蔵文化財センター